

ご挨拶

株式会社バルカー
代表取締役会長CEO

瀧澤 利一



令和2年の初春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。
読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年5月1日から新しい時代「令和」が始まりました。

初めての令和の新年は、米中関係悪化や新型コロナウイルスの影響などが市況に反映し世界景気が減速する懸念が増大する中、我が国においても消費増税による内需の減退や自然災害の爪痕の残る中で迎えることになりました。今後は、落ち込みを続けてきた半導体需要や自動車販売などに底打ち反転の兆しもあるとは言え、昨今の事業環境は恒常的に激しい変化にさらされております。このような、変化の激しい事業環境を企業が勝ち抜いていくためには、市場の課題に対するソリューションを迅速に提供していくことを可能とすることが重要となっております。

当社グループも、昨年を新生バルカー元年と位置付け、H&Sカンパニーとして飛躍するための強い決意のもとに、ハードオンリーからサービスを含めた顧客価値の創造を追求するマインドセットとビジネスモデルの構築を目指す企業へと脱皮出来るように、自らを変革していく強固な覚悟を持ち事業に取り組んでまいりました。その中で昨年は、そのような当社の決意を明確に内外へと発信するために新たな経営体制の構築も行い、当社の社名の由来でもあります「Value (価値)」と「Quality (品質)」に対する徹底的なこだわりのもと、グローバル市場が必要とする足元から未来に起こりうる様々な課題へのソリューションを提供していくために、イノベーションの創造に注力し顧客の皆さまに対して新たな価値を持つ製品とサービスを提供するための体制強化に努めてまいりました。

このような背景の下、当社は2018年度よりスタートした第8次中期経営計画「New Valqua Stage Eight (NV・S8)」を2019年度において終了させ、2020年度より新たな中期経営計画の下で創業100周年に向けた事業成長を実現する活動を新たに構築していく決断をいたしました。この新たな中期計画においては、H&Sコンセプトを基軸として更にイノベティブな活動を実行することにより、世界市場での課題に寄り添ったソリューションを顧客の皆さまに提供してまいり所存です。当社にとって基本的な課題である、「安心・安全」をシールエンジニアリング・サービスにより顧客の皆さまに提供することに加えて、喫緊のグローバルな課題である環境負荷問題に対しても、当社が提供出来る技術解により広義の持続可能性に関する課題解決へ取り組むことで、国連による国際的な開発目標であるSDGs (Sustainable Development Goals) にも即した多様な社会における健全で持続的な成長に貢献していくことも考えてまいり所存です。

夏に東京五輪が予定される本年は、当社にとっては変革元年となる新しい令和の時代にふさわしい幕開けとなりました。本年も一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げますとともに、読者の皆さまの更なる発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。